

だいがたどき

台形土器と縄文土器づくりのムラ

神奈川県教育委員会文化遺産課

渡辺千尋

台形土器は、ものを載せるための円形の受け部とそれを支えるための脚部からなる土製品である（室伏2008）。縄文時代中期初頭に甲府盆地から西関東で発生し、その後、東日本に広く分布する一方、関東地方では中期末には消滅してしまう（櫛原2004）。

台形土器の存在については、1926年の鳥居龍蔵による報告が初出とされているが、現在まで注目度の高い遺物であったとは言えない。

台形土器は受け部と脚部の関係によって形態が整理され、主に円盤形（無脚形）、円卓形（鏝付形）、円筒形（鏝無形）と土器底部の転用品の4つのタイプに分類されている。

神奈川県内では、40遺跡あまりで台形土器の出土が確認されている。台形土器の用途については諸説あるが、近年では良好な調査事例の検討や使用実験によって、土器製作台としての用途が想定されるようになっている。

神奈川県内の台形土器は、土坑からの出土も認められるが、竪穴建物跡（竪穴住居跡）からの出土が多く、主な使用場所としては竪穴建物内であることが予想される。なかでも、竪穴建物跡の炉周辺～奥壁側から出土することが圧倒的に多く、その場所が土器製作の一工程が行われていた空間である可能性が考えられる。

台形土器は、意外と解明されていない縄文土器づくりの場を解明する重要な遺物であり、土器づくりムラの存在の可能性を示唆している。今回の講座ではその一端を紹介したい。

キーワード

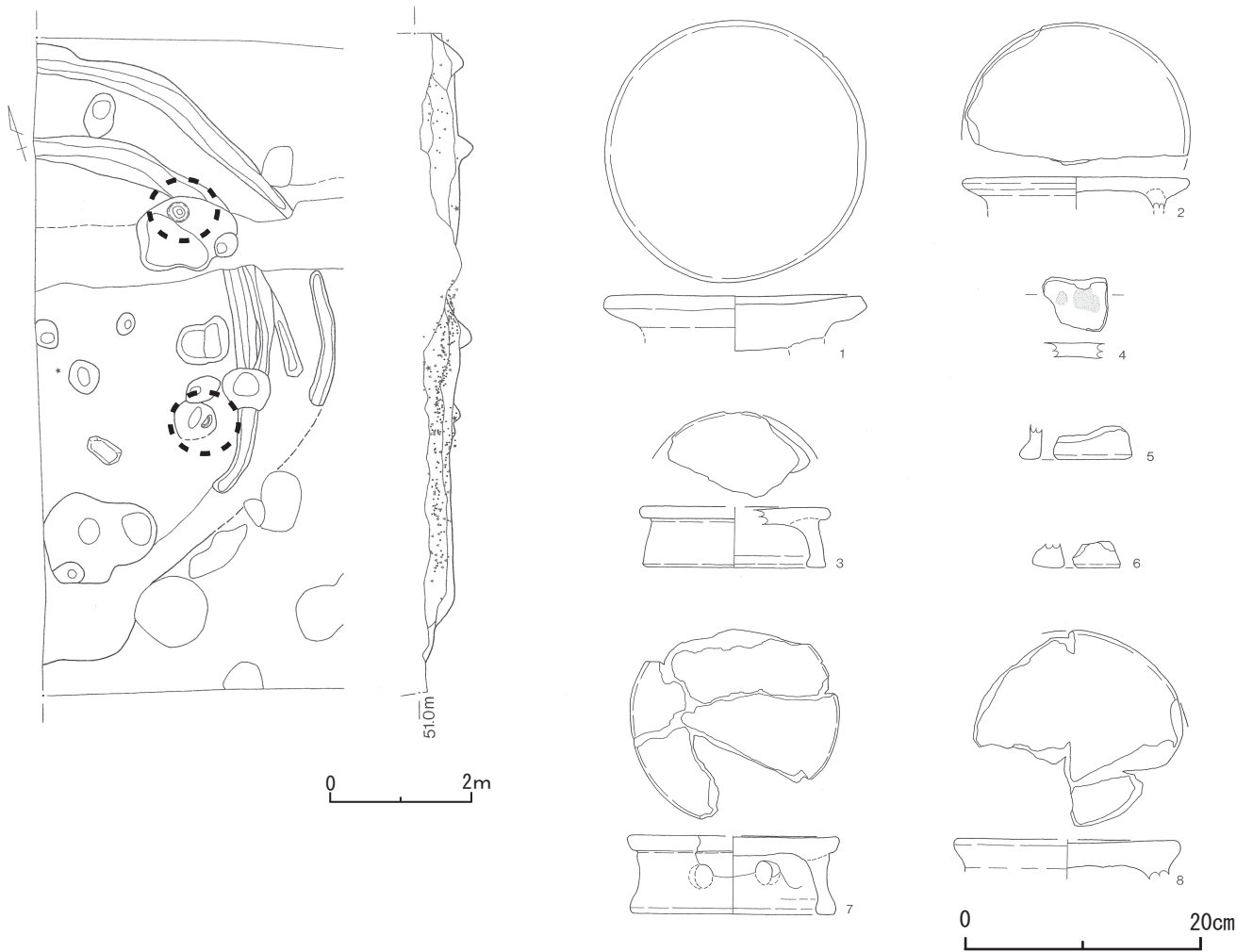
台形土器（だいがたどき）・器台（きだい） 焼成粘土塊（しょうせいねんどかい）
使用痕（しょうこん） 勝坂式土器（かつさかしきどき） 加曽利E式土器（かそりイーしきどき）
粘土採掘坑（ねんどさいくつこう） 竪穴建物跡（たてあなたてもものあと）

参考にした文献

（発掘調査報告書は割愛しています）

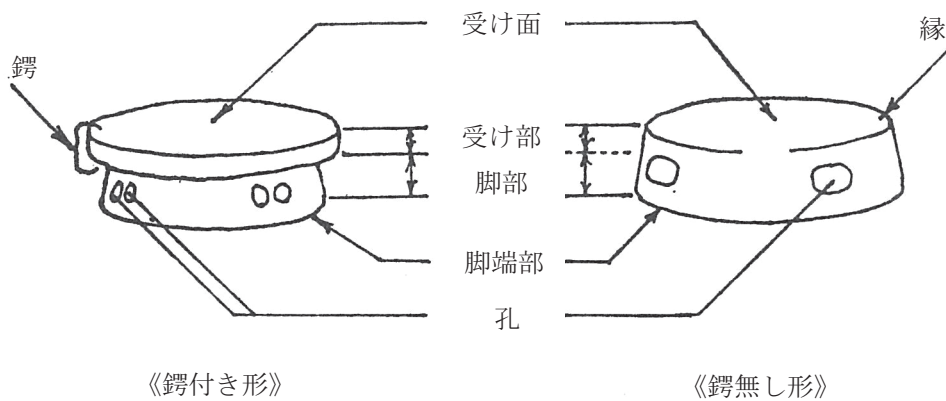
- 可児通宏 2005 『縄文土器の技法』 同成社
- 櫛原功一 2004 「台形土器の研究」『帝京大学山梨文化財研究所研究報告』第12集、帝京大学山梨文化財研究所
- 室伏徹 2008 「台形土器」『総覧 縄文土器』小林達雄編、アム・プロモーション
- 山梨県考古学会 2002 『土器から探る縄文社会』2002年度研究集会資料集
- 山本孝司 2007 「土器製作のムラ」『縄文時代の考古学』6 ものづくり—道具製作の技術と組織 同成社
- 2008 「土器作り集団」『総覧 縄文土器』小林達雄編、アム・プロモーション
- 渡辺千尋 2015 「曾我谷津岩本遺跡第Ⅱ地点出土の台形土器について」、遺跡講演会『縄文土器を作る～縄文人の造形を支えた台形土器』資料集、小田原市教育委員会

1. 小田原市曾我谷津岩本遺跡第Ⅱ地点の調査

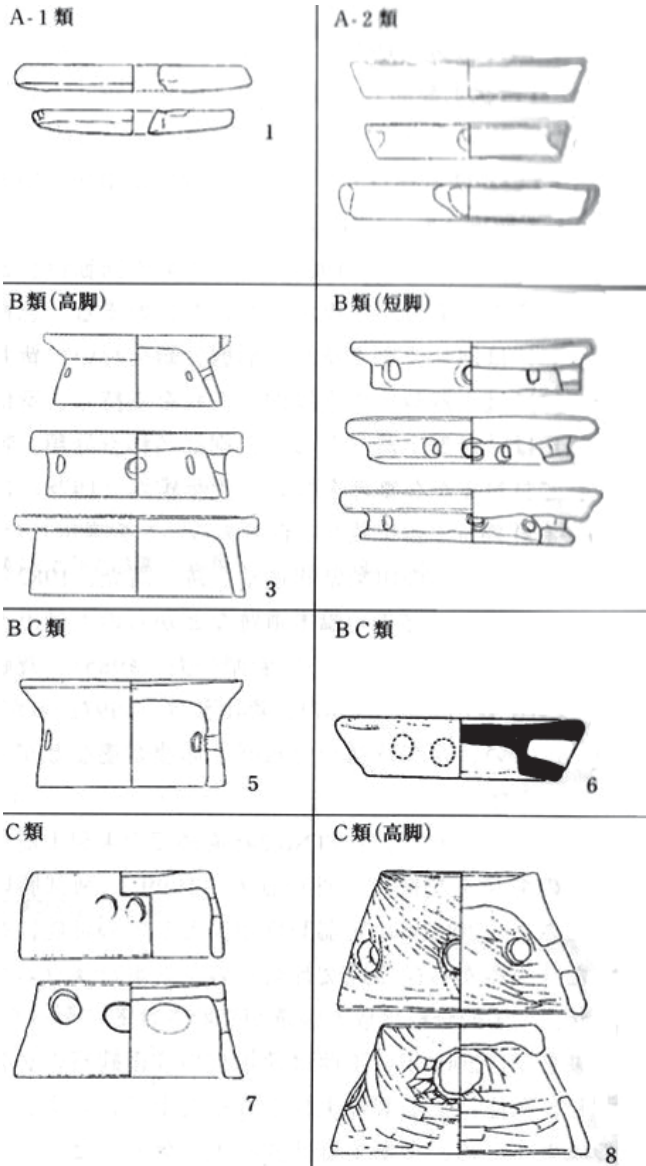


第1図 曾我谷津岩本遺跡第Ⅱ地点 (1/100) と出土台形土器 (1/6) (渡辺 2015 より作成)

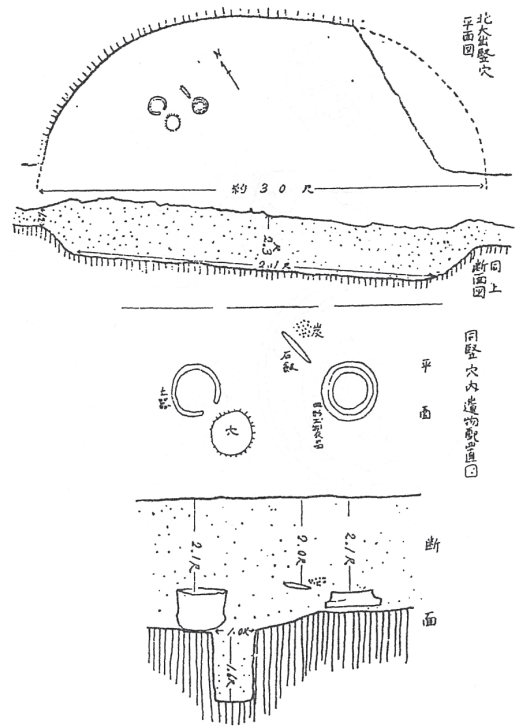
2. 台形土器とは



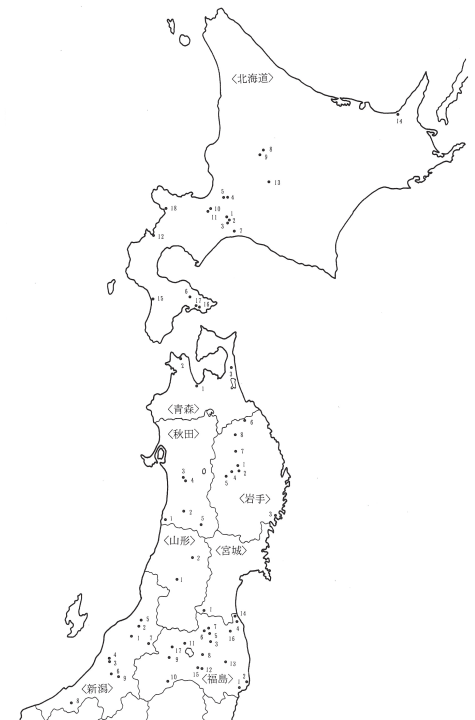
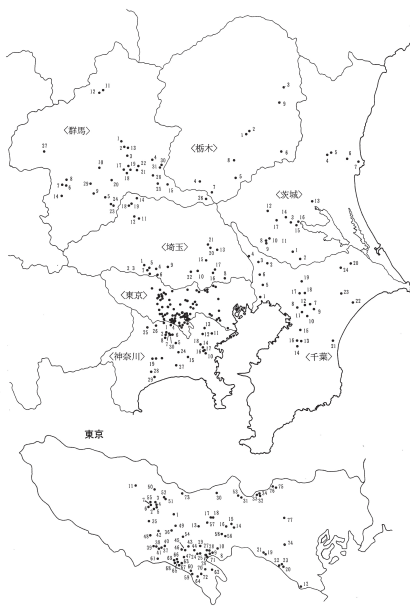
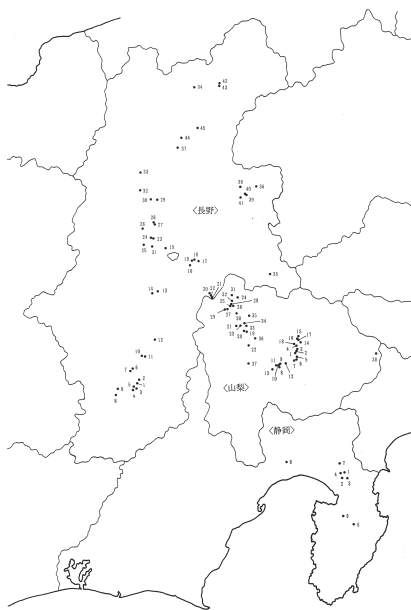
第2図 台形土器の名称 (室伏 1976)



A類：円盤形 B類：円卓形 C類：円筒形
第3図 台形土器の分類 (室伏 2008)

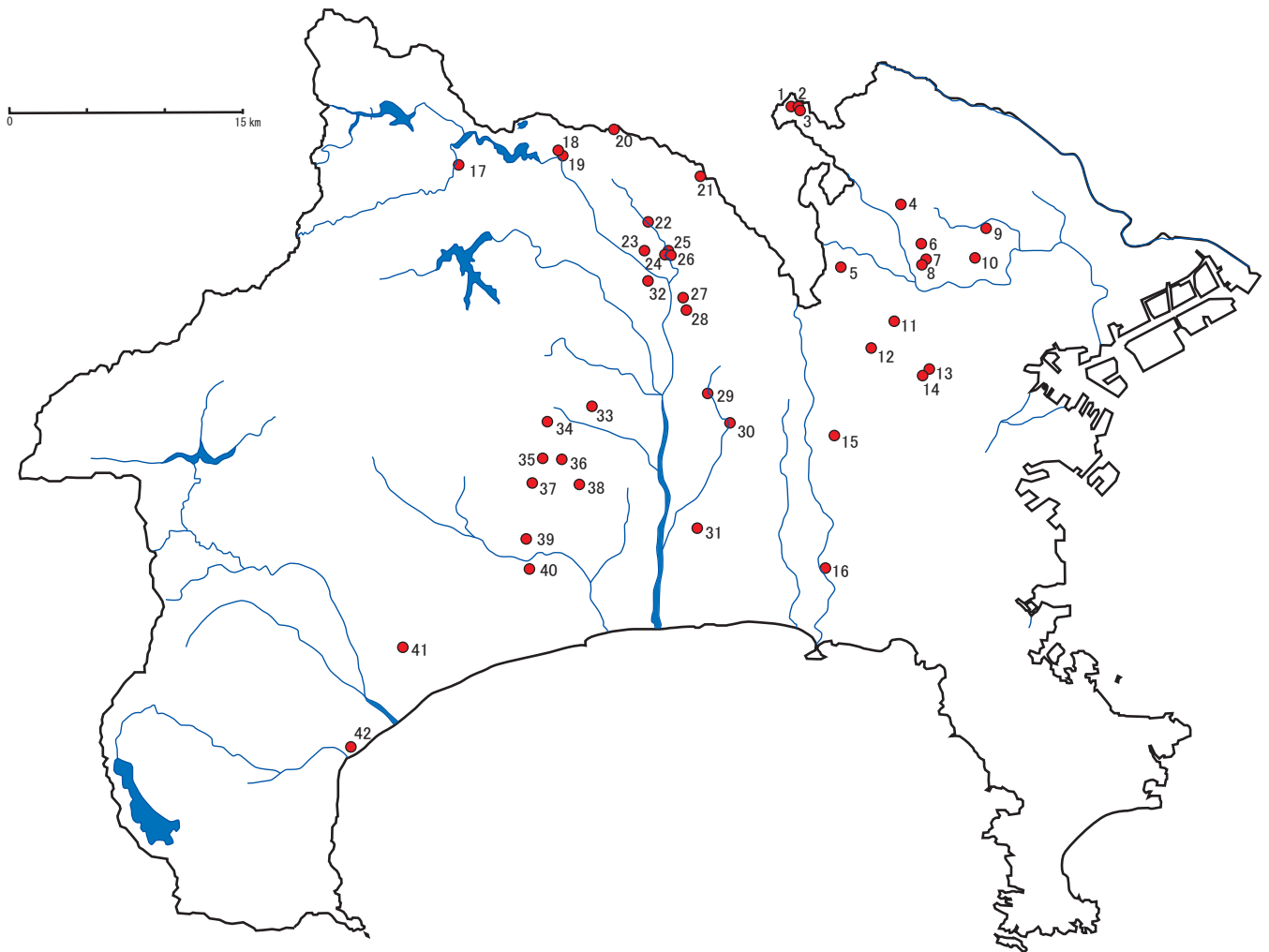


第4図 伊那富村北大出竪穴出土の台形土器 (鳥居 1926)



第5図 台形土器等の出土遺跡 (山梨県考古学協会2002より)

3. 神奈川県内における台形土器の状況



川崎市

1. No.16 遺跡(1)
2. 宮添遺跡・No.10 遺跡(27)
3. 谷ツ遺跡(2)

横浜市

4. 赤田地区遺跡群(1)
5. 住撰遺跡(2)
6. 小丸遺跡(2)
7. 二ノ丸遺跡(2)
8. 月出松遺跡(3)
9. 北川貝塚(1)
10. 大熊仲町遺跡(2)
11. 上白根おもて遺跡(2)
12. 権太山遺跡(1)
13. 西原遺跡(1)
14. 市ノ沢団地遺跡(7)
15. 泉警察署遺跡(1)

藤沢市

16. 西富貝塚(1)

相模原市

17. 青山開戸遺跡(1)
18. 川尻遺跡(2)
19. 川尻中村遺跡(18)
20. 橋本遺跡(121)
21. 山王平遺跡(3)
22. 上溝甲七号遺跡(1)
23. 当麻遺跡・田名花ヶ谷戸遺跡(11)
24. 上中丸遺跡(16)
25. 下中丸遺跡(3)
26. 下原遺跡(14)
27. 勝坂遺跡D地区(2)
28. 新戸遺跡(1)

海老名市

29. 望地遺跡(1)

綾瀬市

30. 早川天神森遺跡(3)

寒川町

31. 岡田遺跡(2)

厚木市

32. 溝野日影坂上遺跡(1)
33. 恩名片岸・大原遺跡(1)

伊勢原市

34. 下北原遺跡(1)
35. 神成松遺跡(2)
36. No.160 遺跡(1)
37. 三ノ宮・前畑遺跡(2)
38. 池端・坂戸遺跡(1)

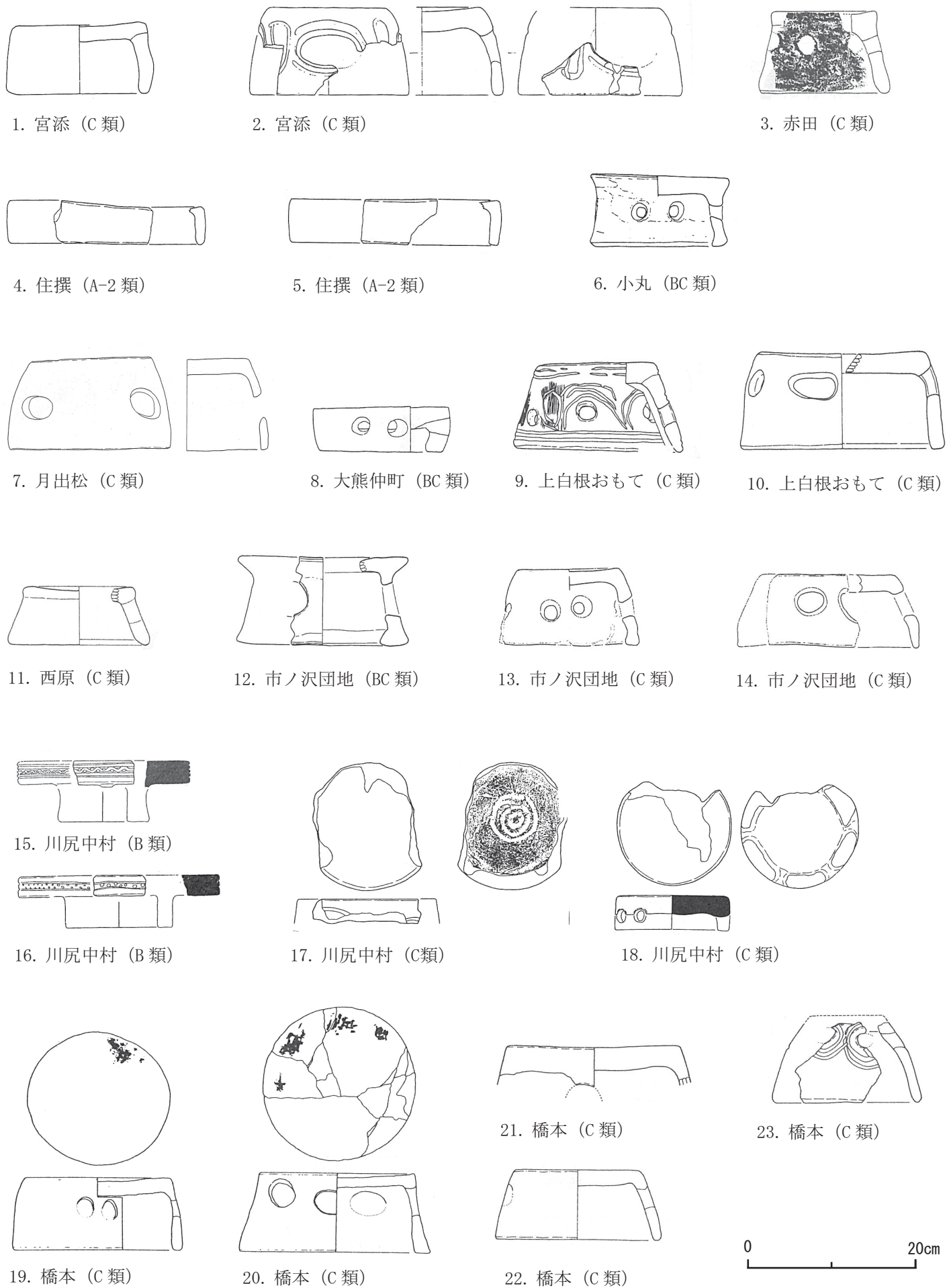
平塚市

39. 竹之内遺跡(1)
40. 原口遺跡(28)

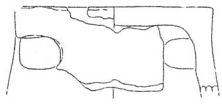
小田原市

41. 曾我谷津岩本遺跡(16)
42. 天神山遺跡(1)

第6図 神奈川県内の台形土器の出土遺跡 ()内は出土点数



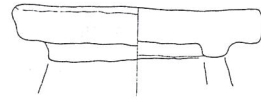
第7図 神奈川県内出土の台形土器(1) (1/6) (各報告書から転載)



24. 山王平 (C類)



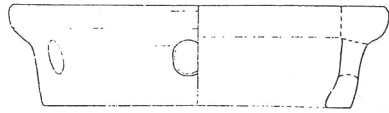
25. 田名花ヶ谷戸 (B類)



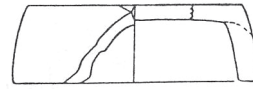
26. 田名花ヶ谷戸 (B類)



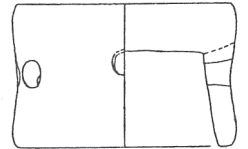
27. 当麻 (B類)



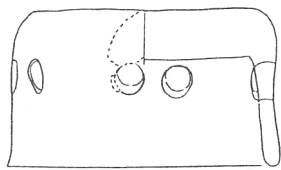
28. 当麻 (BC類)



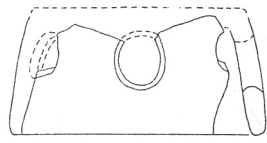
29. 当麻 (C類)



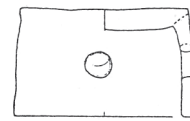
30. 当麻 (C類)



31. 当麻 (C類)



32. 当麻 (C類)



33. 当麻 (C類)



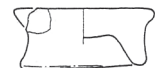
34. 上中丸 (B類)



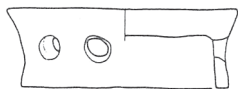
35. 上中丸 (B類)



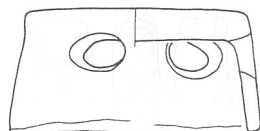
36. 上中丸 (BC類)



37. 上中丸 (BC類)



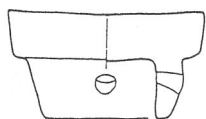
38. 上中丸 (C類)



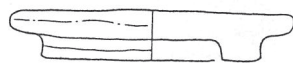
39. 上中丸 (C類)



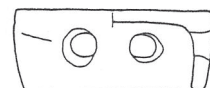
40. 上中丸 (C類)



41. 下原 (B類)



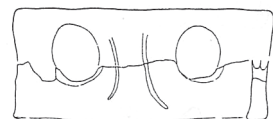
42. 下原 (B類)



43. 下原 (C類)



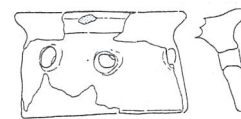
44. 神成松 (BC類)



45. 原口 (C類)



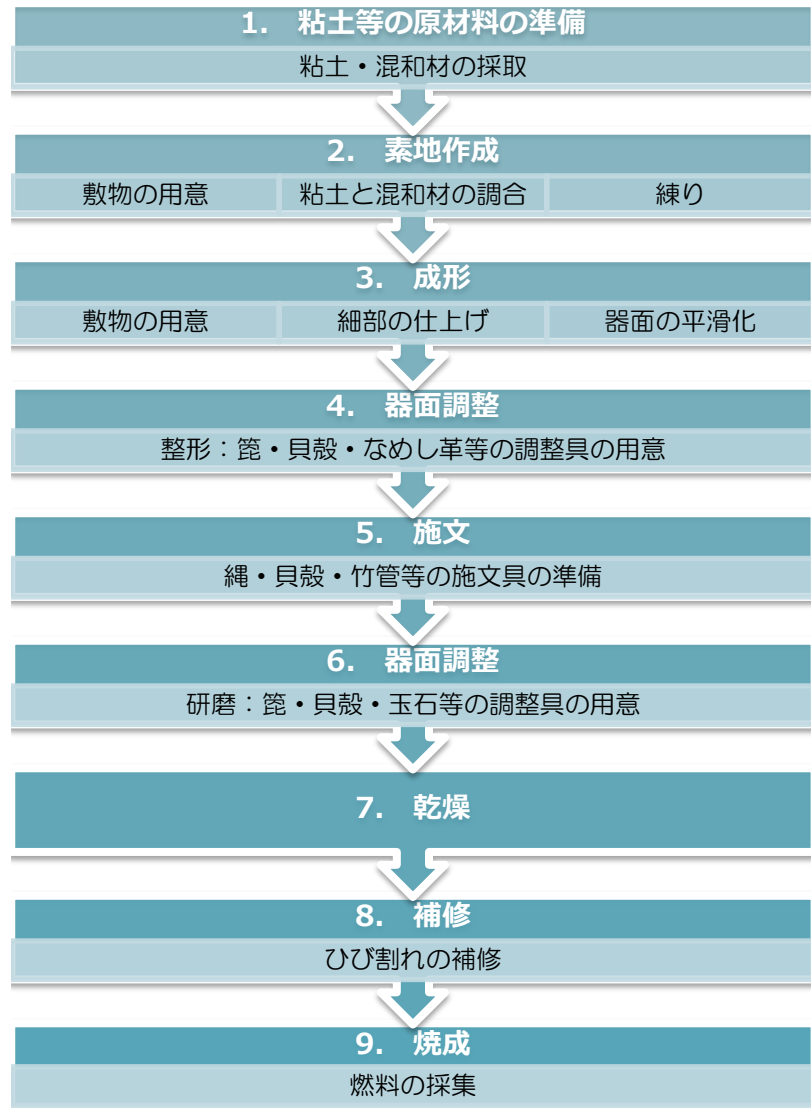
46. 原口 (BC類)



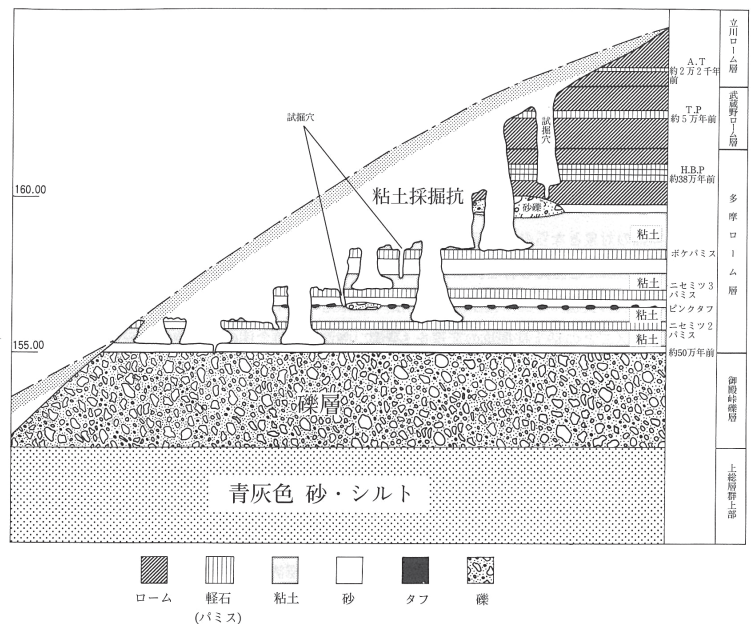
47. 原口 (BC類)



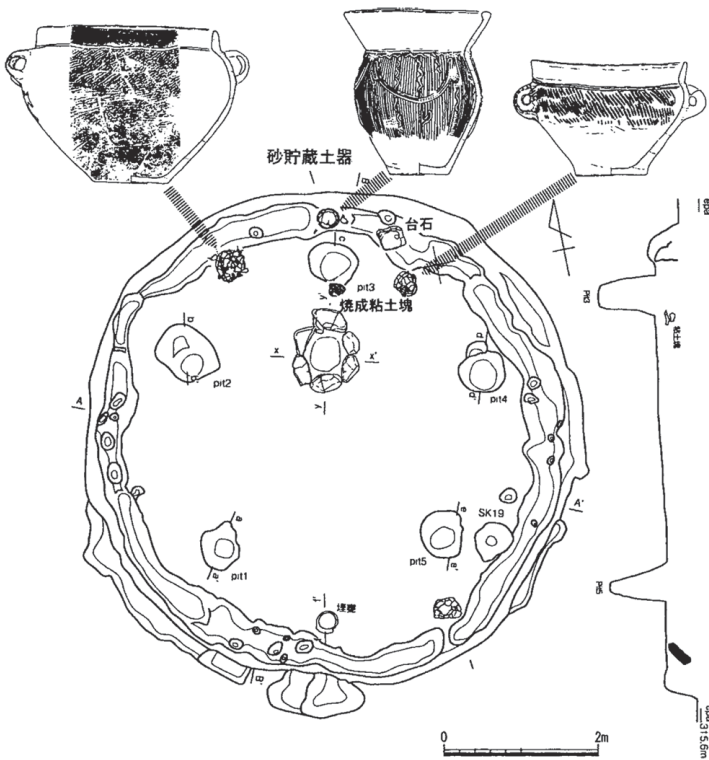
4. 縄文土器をつくるために



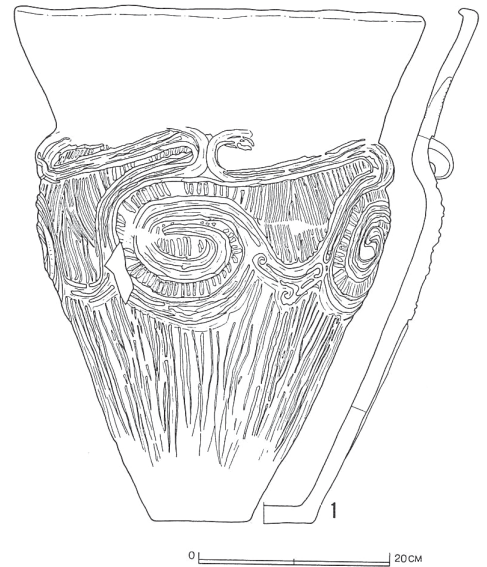
第1表 土器づくりの基本工程（可児2005をもとに作成）



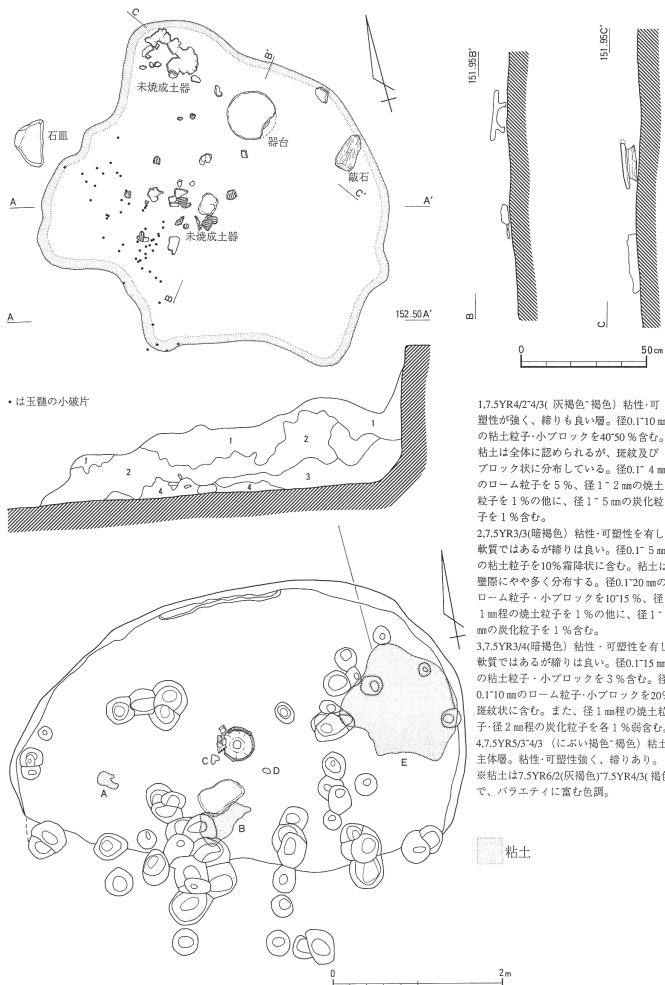
第9図 多摩ニュータウンNo.248遺跡全体図（1/2,000）と粘土採掘坑の模式図（斎藤ほか2000）



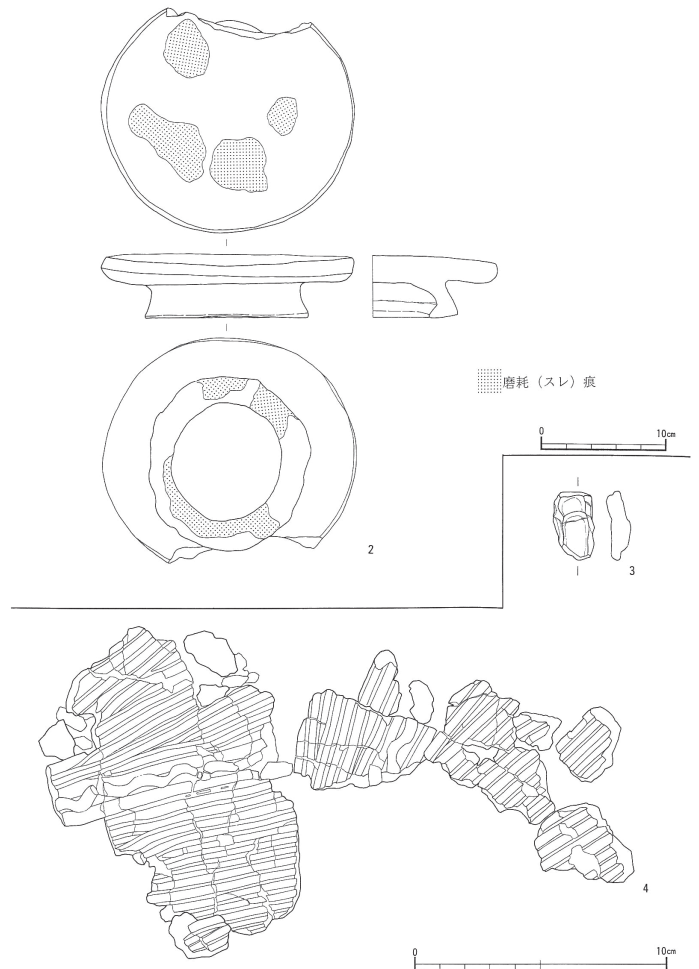
第10図 山梨県笛吹市前付遺跡の竪穴住居跡と砂貯蔵土器 (1/100) (望月ほか2015)



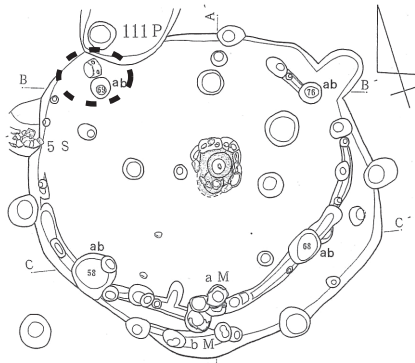
第11図 下原遺跡第4号住居跡出土土器 (1/8)



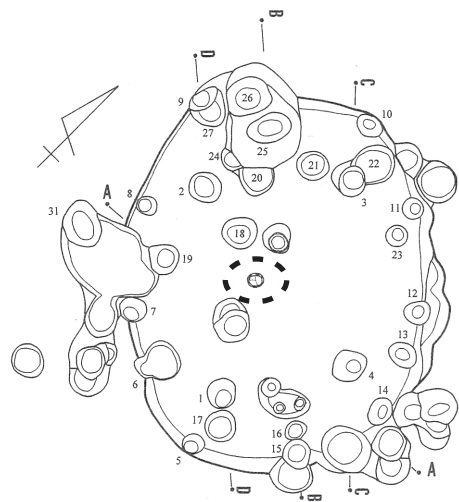
第12図 多摩ニュータウンNo.245遺跡51号住居跡と出土台形土器 (1/6) ・未焼成土器 (1/3) (山本ほか1998)



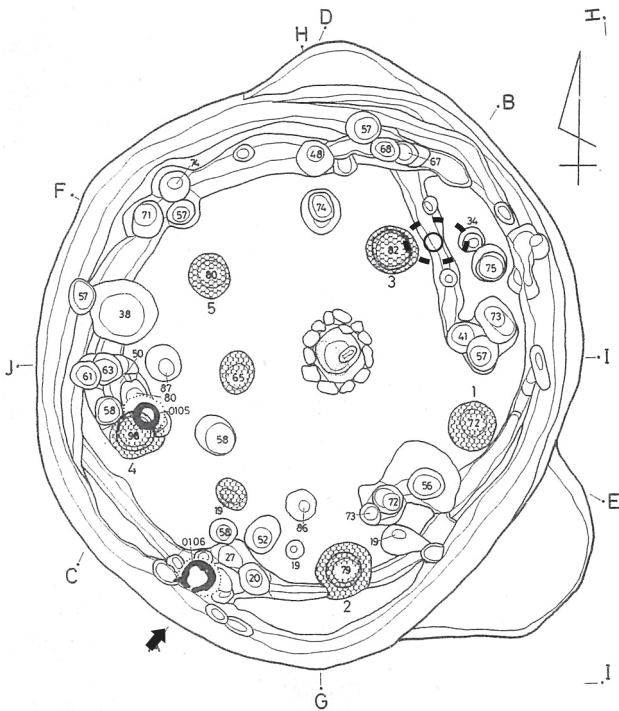
5. 台形土器はどこから発見されるのか



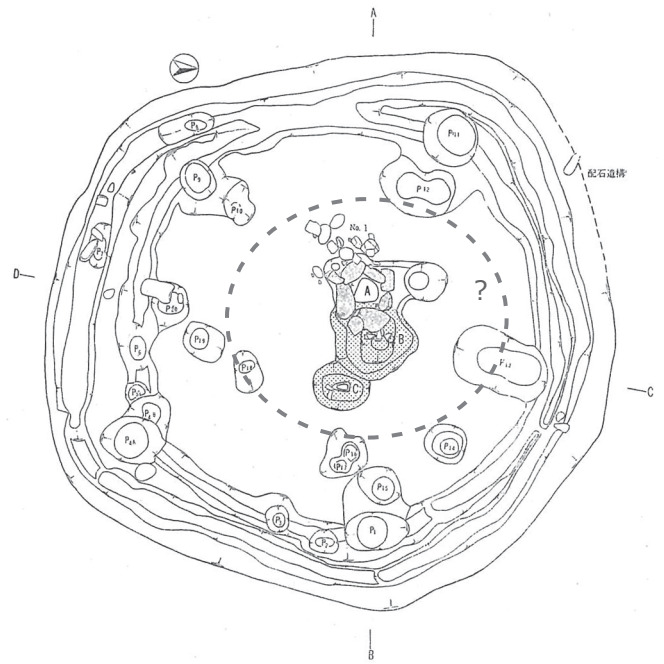
月出松 J94 号住居跡



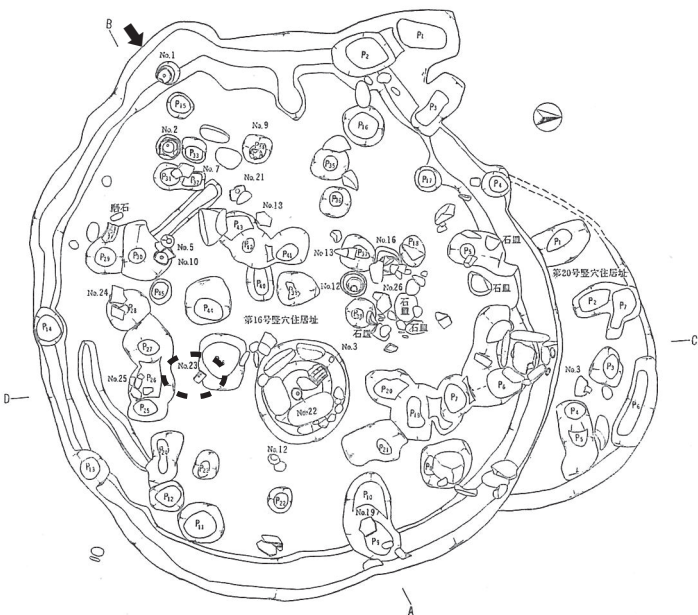
小丸 6 号住居跡



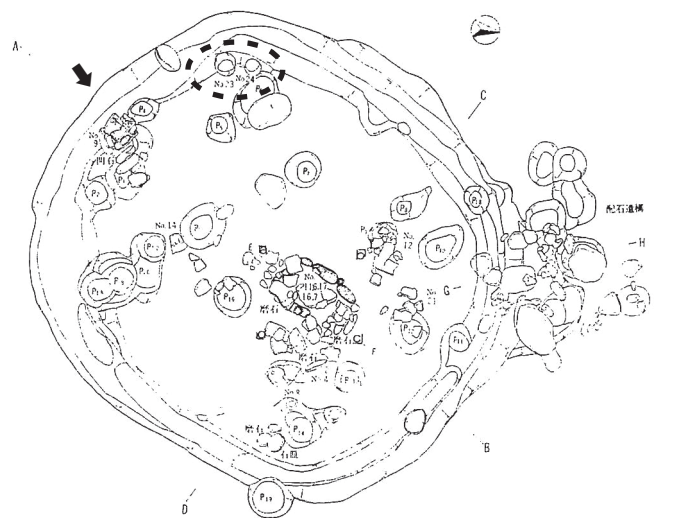
上白根おもて 34 号住居跡



当麻第 2 号竪穴住居跡

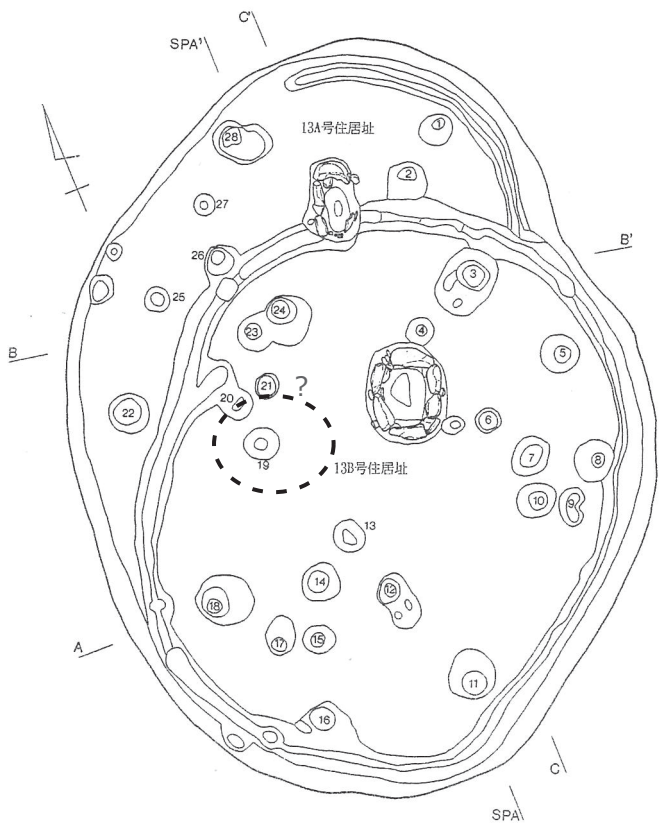


当麻第 16 号竪穴住居跡

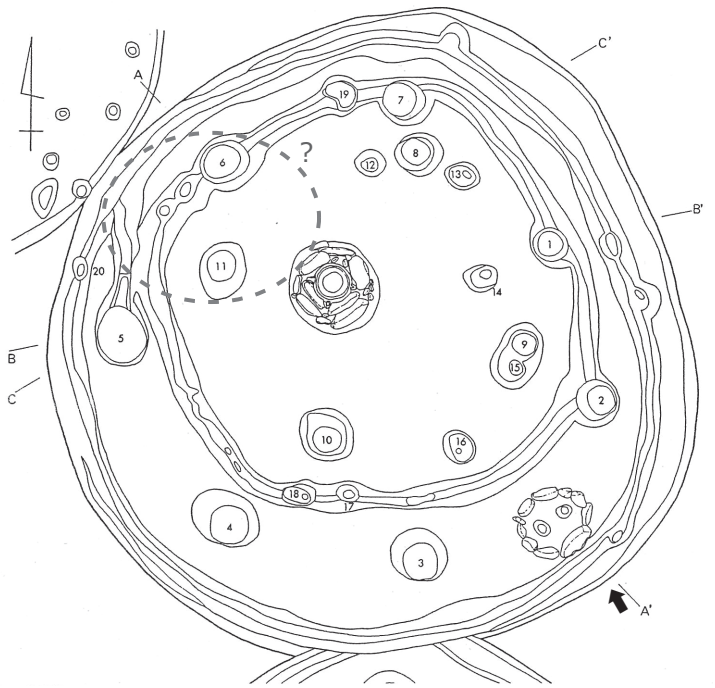


当麻第 56 号竪穴住居跡

0 2m



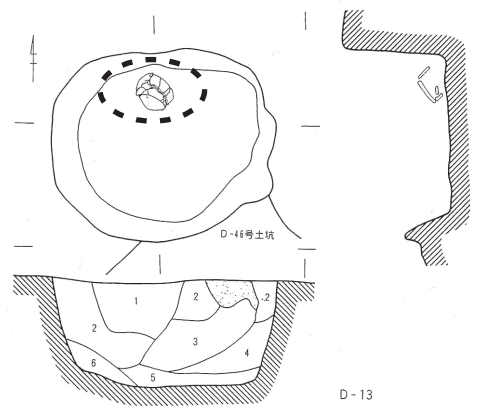
上中丸 13B 号住居跡



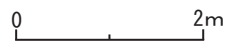
下原第 27 号住居跡



原口 J23 号竪穴住居跡



宮添 D-13 号土坑



第14図 台形土器の出土状況 (2) (1/80・1/40) (各報告書から転載・一部加筆修正)